

**昭和63年度の献血功
労者は42名、3団体**

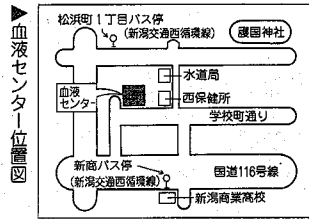
昭和六十三年(昭和六十三年四月一日から平成元年三月三十一日まで)に献血回数が三十回、五十回を超えられた次の人たちが、献血功労者として表彰されています。献血回数が百回以上の人と合わせて紹介します(敬称略)。

◇100回以上の人(1名)
徳永章司(古田、151回)
◇50回以上の人(6名)
山口忠郎(南町)、田中嘉明(新町)、帆刈隆(萩島)、加藤茂(子成場)、横山潤次(新町2)
◇30回以上の人(35名)
羽田朋子(六郷)、坪谷雅一(滝谷町)、高橋正勝(山谷町3)、木下内恵雄(車場3)、堀正(小戸下組)、石

黒健一(古田)、甲田康夫(山谷町2)、高山良(車場4)、橋本泰雄(古津)、丸山勝義(塩谷)、寺崎輝(本町1)、小山裕史(本町1)、飯島道夫(秋葉)、原静子(北土上)、石附美代子(金沢町4)、長谷川昭広(古田)、岩淵精衛(北土上2)、佐藤ゆう子(本町2)、小林忍(南町)、熊木正芳(美幸町2)、真柄保

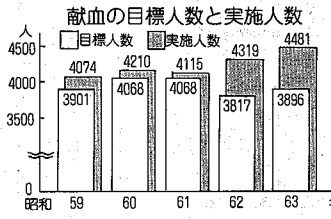
一(大鹿)、小林義夫(程島)、藤田陣(金沢町2)、小出英治(新金沢町)、横山忠平(本町2)、阿部繁雄(六郷)、鎌田威(程島)、田村松雄(萩島2)、本間晴雄(車場3)、岡田達哉(梅太)、岩倉善(新町2)、駒形敏夫(秋葉2)、高橋茂(新町3)、渡辺古吉(古津)、中村好則(山谷町1)

なお、昭和六十三年(昭和六十三年)に献血功労の感謝状が次の三団体、一名に贈られました(敬称略)。
◇献血功労感謝状を受けた事業所、団体(3団体)
日佑電子(株)、新津ライオンズクラブ、秋葉ライオンズクラブ
◇献血功労者知事感謝状を受けた人(1名)
夏井清次(車場1)



成分献血は血液センターで

□とき：毎週火曜日、木曜日、金曜日(祝日は除く)の午前9時～正午、午後1時～4時
□ところ：新潟県赤十字血液センター(新潟市関屋下川原町1丁目3番12号 電話0251-23113125)



献血は健康管理にも役立ちます

献血をしてみたい人の中には、次のように血液検査が行われます。献血は、自分自身の健康管理にも役立つのです。

◇血液型の検査：A・B・O血液型検査、Rh血液型検査
◇各種感染症の検査：梅毒血清学的検査、B型肝炎ウイルス抗原検査、エイズウイルス抗体検査、成人T細胞白血病ウイルス抗体検査

献血で病気を防ぎませんか

献血するときの採血針は、一人ひとりに使い捨てです。血液を媒体として、まれに感染することのある病気として、エイズ(後天性免疫不全症候群)、B型肝炎、

献血の日程

◇7月11日(火)の午前9時30分～正午と午後1時～3時30分：新津工業高校(東町1)
◇7月12日(水)の午前9時30分～正午と午後1時～3時30分：新津高校(秋葉1)

梅毒などがありますが、献血とは関係ありません。

昨年度も献血目標を達成しました

当市の献血状況は、上のグラフのとおりです。昭和六十三年度は、献血事業推進協議会の皆さんの積極的なPR活動、市民の皆さんのご協力により、献血の目標人数を大幅に上回ることができました。本当にありがとうございます。

梅毒などがありますが、献血とは関係ありません。

昨年度も献血目標を達成しました

当市の献血状況は、上のグラフのとおりです。昭和六十三年度は、献血事業推進協議会の皆さんの積極的なPR活動、市民の皆さんのご協力により、献血の目標人数を大幅に上回ることができました。本当にありがとうございます。

お買物、ご用命は市内で

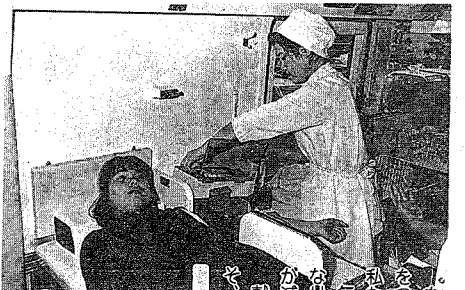
ギョーザ、つけめん
つけ麺大王
TEL(02)七六七八
新津市本町二

冷ラーメン・冷むぎ
天ざる・うなぎ・定食各種
食堂 新栄軒 (24)1854
居酒屋 新栄茶屋 (24)3773

健康家族
新津薬局
保険調剤・漢方薬全処方
健康食品・ベビー・介護用品
新津駅前本店 (24)6311
おぎかわ駅前店 (24)6322

優しいあなたの勇気を少しでもください。

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です



GIVE BLOOD
SAVE LIFE

血液は、生きた細胞です。そのため、人工的に血液をつくることは、できません。医療に必要な血液は、私たち自身が提供する以外に方法はないのです。毎年、夏になると、輸血に必要な血液が不足がちになります。しかし、夏だからといって、病人やけ人が減るわけではないのです。献血は、愛の奉仕活動です。血液が不足がちな夏に、あなたの善意を生かしてください。

3つの献血基準

200ml献血

- 満16歳～満64歳
- 体重 男子45kg・女子40kgを超える人
- 献血間隔 男女とも最低1か月
- 年間総献血量 男子1,200ml以内 女子800ml以内

400ml献血

- 満18歳～満64歳
- 体重 男女とも50kg以上
- 献血間隔 男子3か月以上 女子4か月以上
- 年間総献血量 男子1,200ml以内 女子800ml以内

成分献血

〈血漿成分献血〉

- 1回の献血量 血漿量で400ml
- 満18歳～満64歳
- 体重 男女とも50kg以上
- 献血間隔 男女とも2週間以上
- 年間の献血回数 24回以内

〈血小板成分献血〉

- 1回の献血量 血漿量で400ml
- 満18歳～満64歳
- 体重 男女とも50kg以上
- 献血間隔 男女とも1週間以上
- 年間の献血回数 12回以内

献血は、二、三ミリリットル献血、四百ミリリットル献血、成分献血の三種類があります。献血をするとき、健康や日常生活には差し支えはありません。また、四百ミリリットル献血は、輸血の効果と安全性をより高めるために必要な献血です。例えば、病

最近の輸血は、血液を成分ごと(赤血球、血漿、血小板など)に輸血する成分輸血がほとんどです。したがって、一人の献血者から特定の成分だけを献血していただく必要性が高くなっています。そこで登場したのが、需要の多い血液の成分(血漿、血小板など)を献血し、赤血球は献血者の体内に返すという、成分献血です。この成分献血は、献血者にとっても負担の少ない方法といわれています。

200ミリリットル献血は以前から実施されています。二百ミリリットル献血は、健康な人であれば、心配はいりません。400ミリリットルの献血でも安全です。私たちの体内を流れている血液の量は、体重五十キログラムの男性では四千ミリリットル、女性では三千五百ミリリットルあるといわれています。医学的には、体内の血液量の一五％以内(男性約六百ミリリットル、女性約五百二十五ミリリットル)が失われても問題はありせん。ですから、四百ミリリットルの献血をしても、健康や日常生活には差し支えはありません。

必要な成分だけを献血する成分献血。最近の輸血は、血液を成分ごと(赤血球、血漿、血小板など)に輸血する成分輸血がほとんどです。したがって、一人の献血者から特定の成分だけを献血していただく必要性が高くなっています。そこで登場したのが、需要の多い血液の成分(血漿、血小板など)を献血し、赤血球は献血者の体内に返すという、成分献血です。この成分献血は、献血者にとっても負担の少ない方法といわれています。

お買物、ご用命は市内で

皆様のガス・ショールーム

ガス器具は長〜い友達
故障、修理は専門家に

アフターサービス完全
技術と信用

Y 信成天然ガスショールーム ☎22-1401